



八編下

春水作
國芳画

特別
~13
4271
14



八編上

かたは 大正

特別
~13
4271
13





八幡上

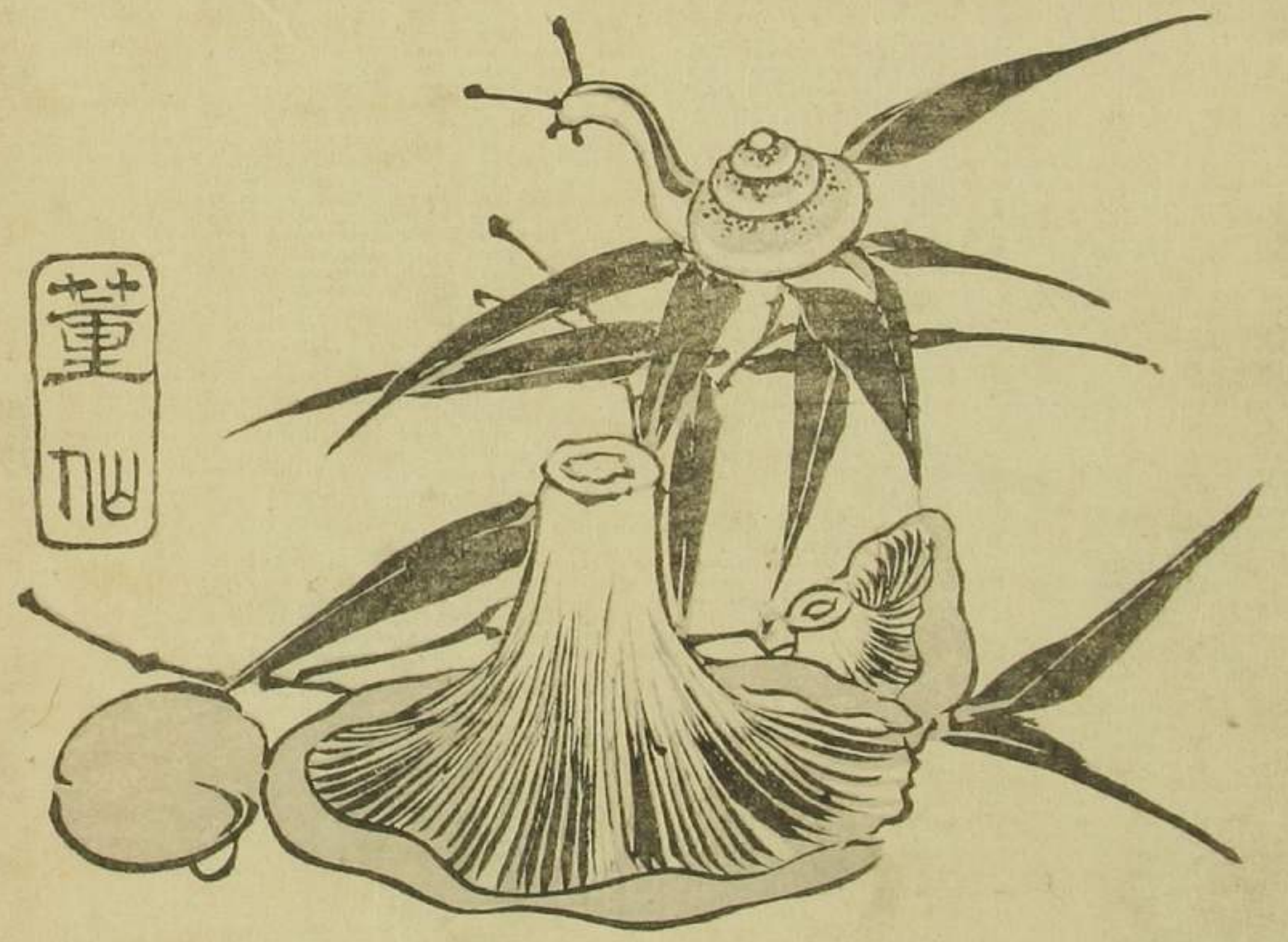
かなたの
大正

特別
~13
4271
13

かなとみ
はらむらん

ハ梅

為永々録
一勇齋畫



董
四

大さなる食言吐を世俗小梭尾を吹とつらう其理あはれあそび
那梭尾貝とあつりの海ふあつら声発せむその肉を去り殻とそ
め死物ふあつて吹とつらう其声数丁の外生を固め啞のとあり実とま
のあつ宜此螺小似らぬのそ附會と斯言あつ復そのほれ大
いあつ稗史小説よまごらあ。実あつてよ千里小鳴る介這書の
原傳あつどののやもほれ大将軍の余細螺の才もあつれど第七
編の表紙の裏ふ大さなる梭尾は画せり中又序言を出せりかの
大先達念玉坊が螺よ因み々表せりあつ又是食言の肴板よ偽
りりもあつを見せんが為あり其あつ四方の肴官の憂顧を
つる梭尾の中あつ序言のあつ灰吹の中よ蛇は出はらん

嘉永三歳庚戌春刺

為永春水誌



修驗道
観得

小友吾

とま
戸山の
妙真

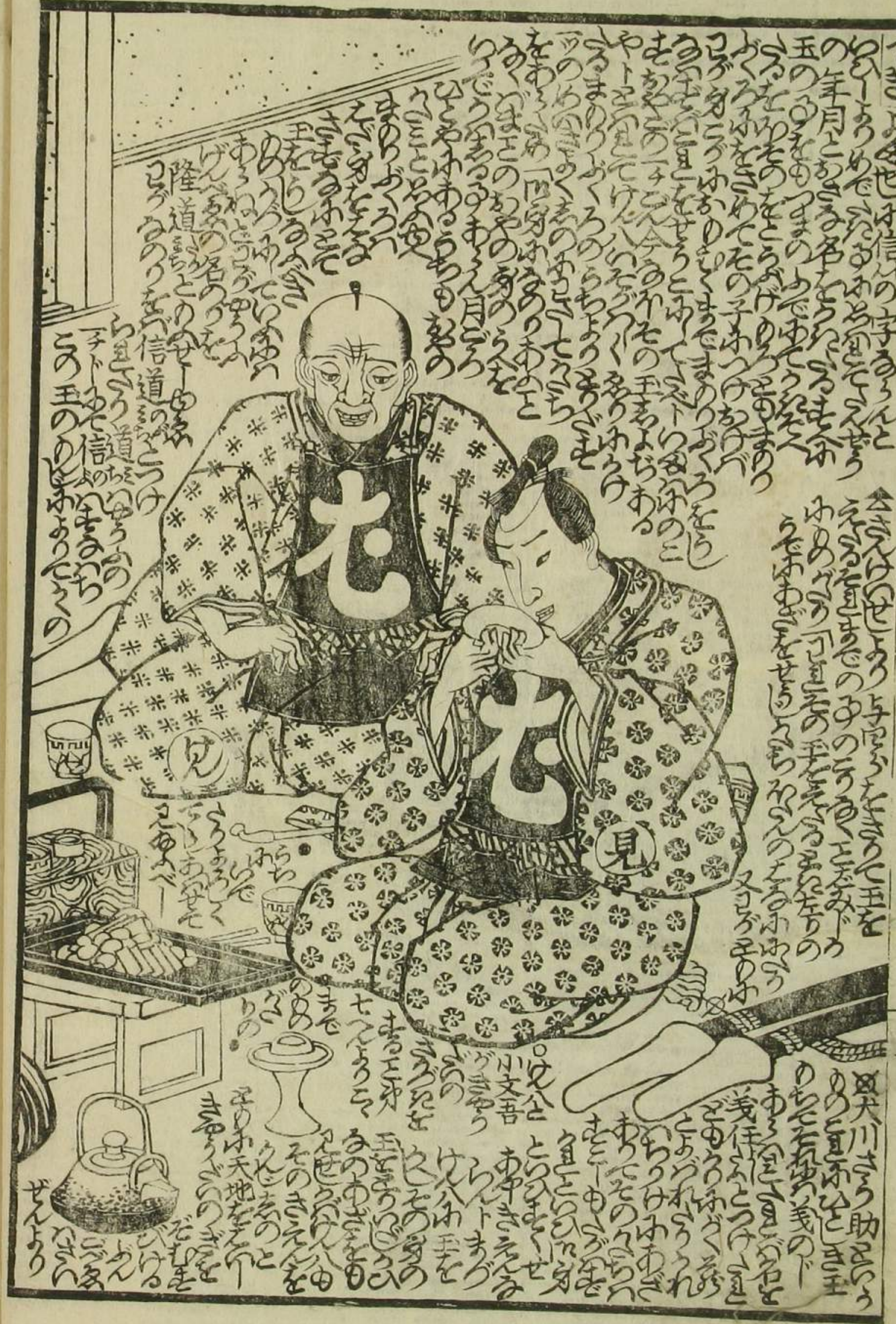


大先

念玉
達

あつ
暴風の
舵九郎

大先







ふまのりやうきをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて

五
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき



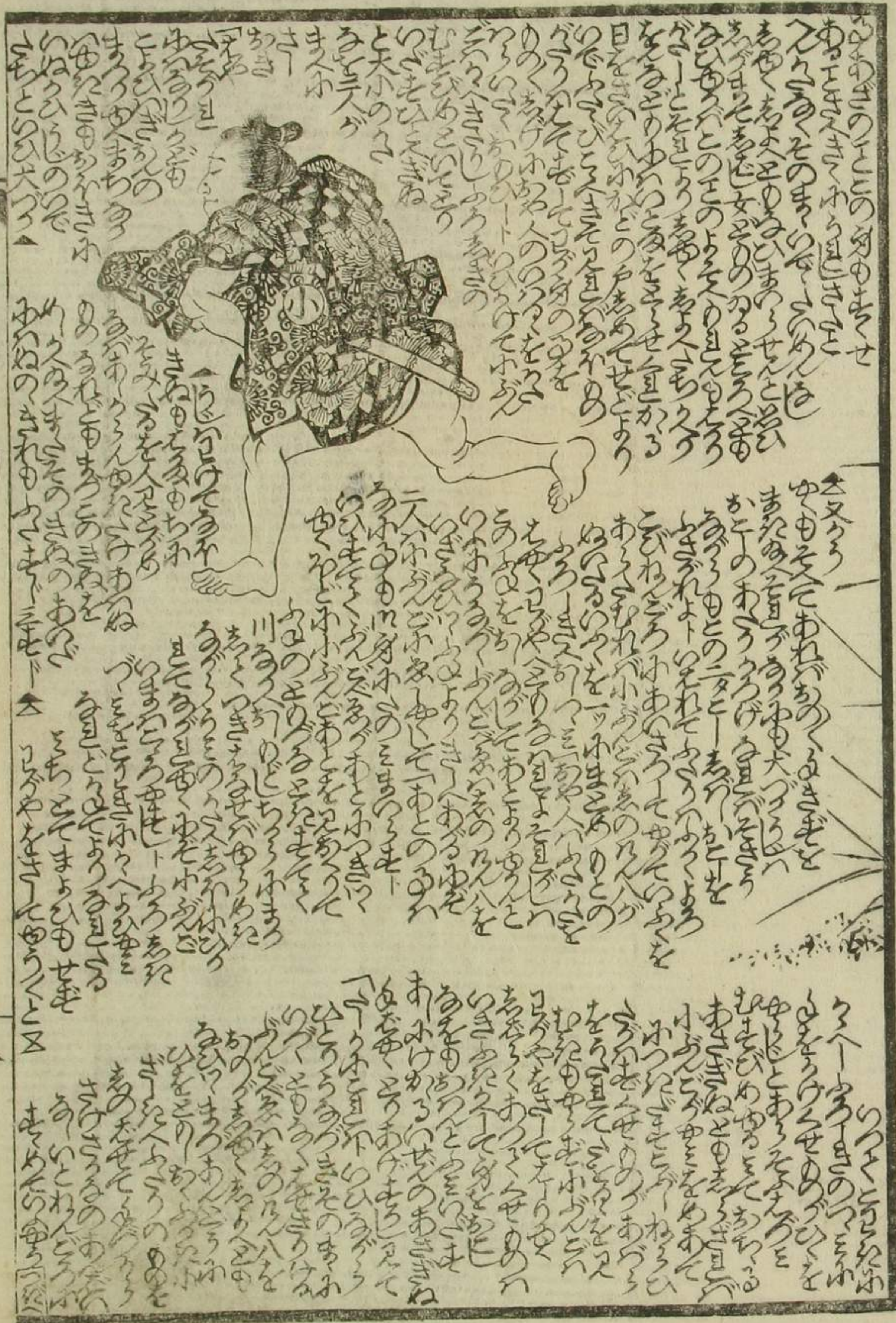
ふまのりやうきをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて
たけのこをいひて

二
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき
かきつらぬきかきつらぬき



Vertical Japanese text in a cursive style at the top of the right page, positioned above the illustration.

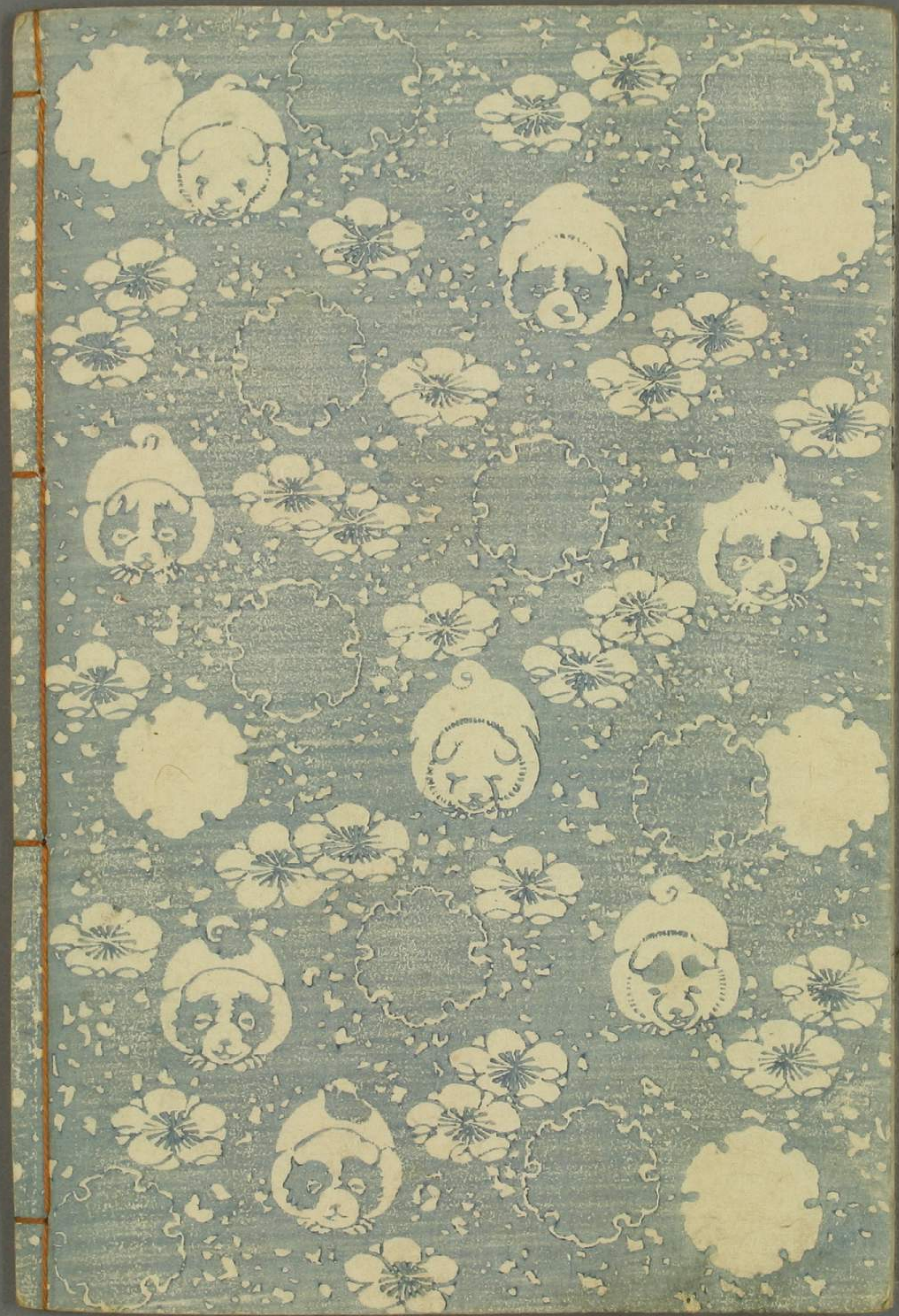
Vertical Japanese text at the bottom of the right page, below the illustration.



八十九

Vertical Japanese text in a cursive style at the top of the left page, positioned above the illustration.

Vertical Japanese text in a cursive style at the bottom of the left page, positioned below the illustration.



喜木作
國芳畫

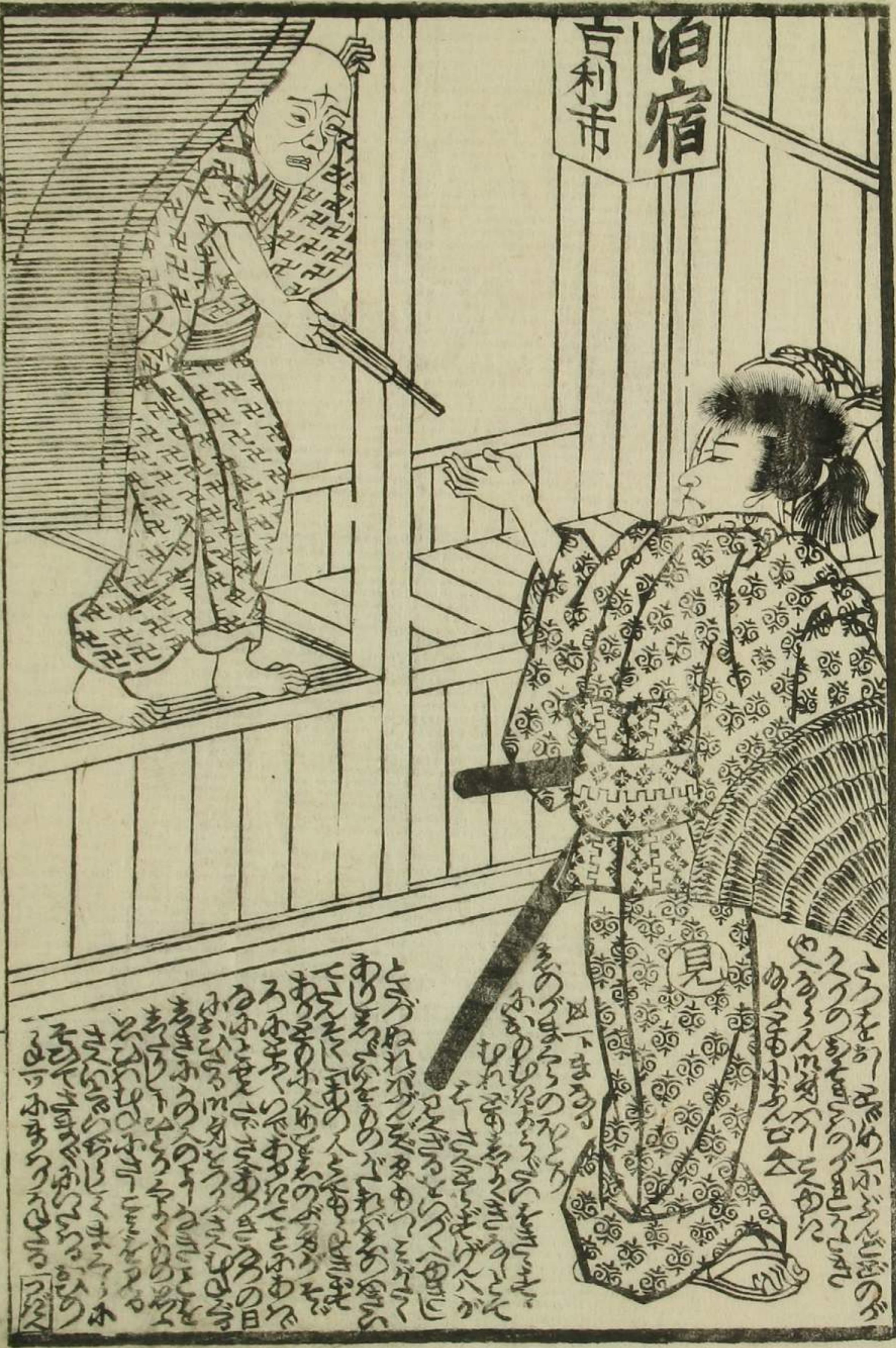
八幡下



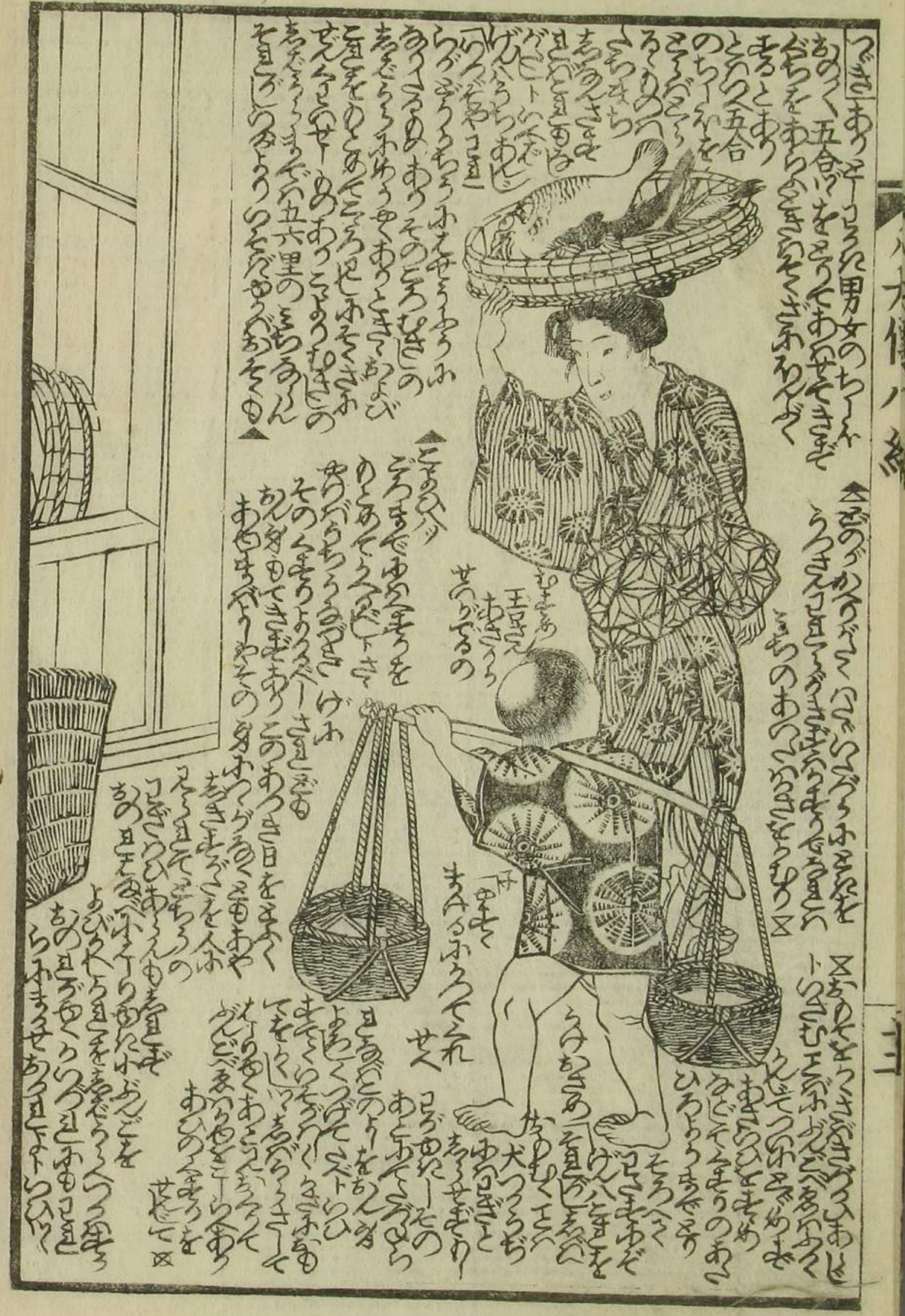
特別
~ 13
4271
14



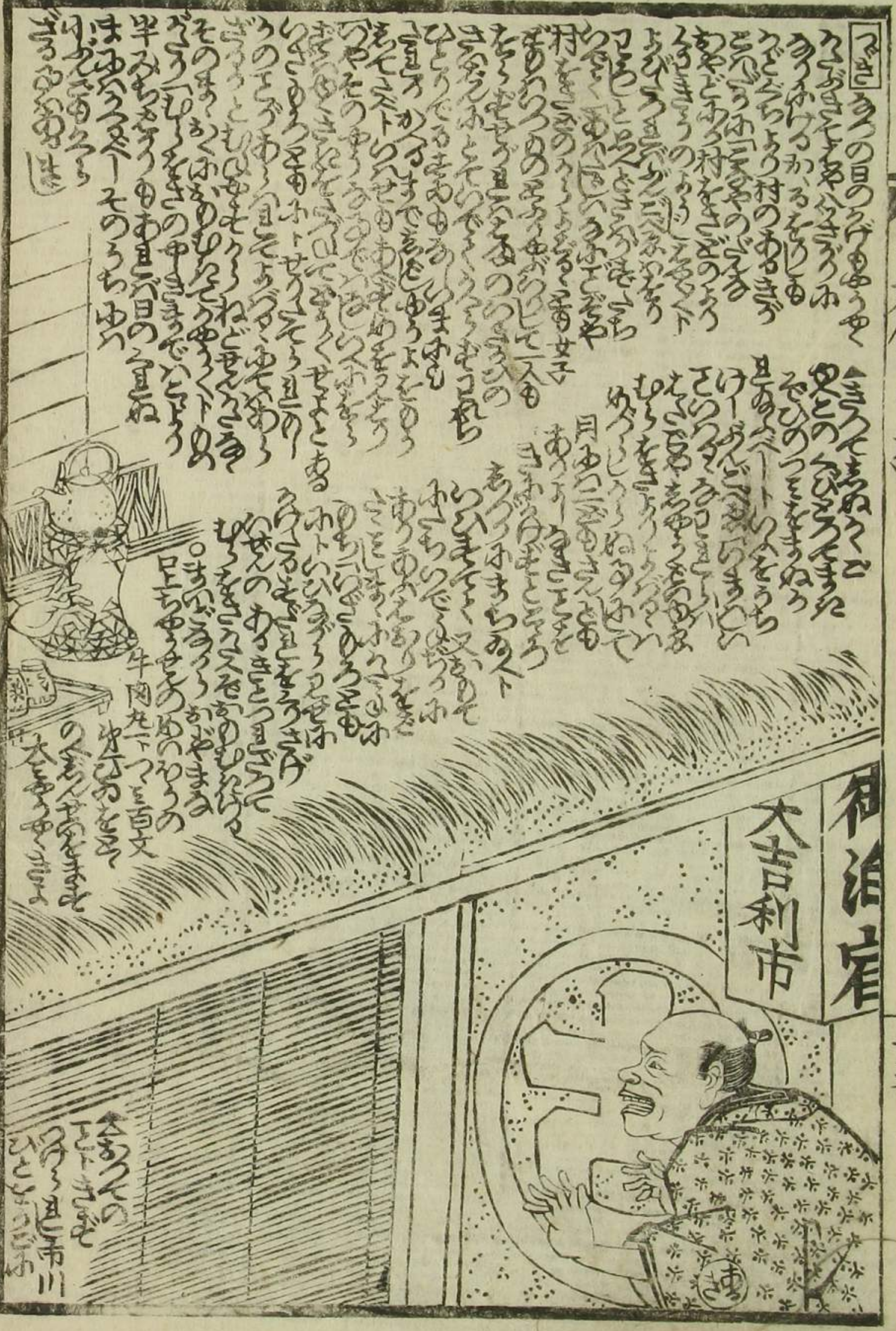
113
4291
14



Handwritten text in Japanese, likely a commentary or dialogue related to the illustration above.



Extensive handwritten text in Japanese, including labels for elements in the illustration and likely a commentary or dialogue.



此の宿に泊るは、神泊宿と云ふ事なり。此の宿に泊るは、大吉利市と云ふ事なり。

此の宿に泊るは、神泊宿と云ふ事なり。此の宿に泊るは、大吉利市と云ふ事なり。



此の宿に泊るは、神泊宿と云ふ事なり。此の宿に泊るは、大吉利市と云ふ事なり。

此の宿に泊るは、神泊宿と云ふ事なり。此の宿に泊るは、大吉利市と云ふ事なり。



ついでに... (Vertical text column at the top right of the illustration)

又... (Vertical text column at the bottom right of the illustration)



ついでに... (Vertical text column at the top right of the illustration)

又... (Vertical text column at the bottom right of the illustration)

八犬傳八

十四



八景八景

八景八景

八景八景

八景八景





成田講中
 旅人帳
 念

素状扣

一之專ノ編

下まのせは...
 せまのせは...
 せまのせは...
 せまのせは...



成田講中
 六那

六那

一之專ノ編

下まのせは...
 せまのせは...
 せまのせは...
 せまのせは...

烏永春水作一勇齋國芳画

此の薬は... 烏永春水作... 烏永春水作の薬は...



此の薬は... 烏永春水作...

此の薬は... 烏永春水作...

浄書 金交

御

かかん

武州埼玉郡加須町

大和門司法橋製

玉置保赤圓

壹包代二百銅 半包代百銅 小包代五十銅

世の中... 此の薬は... 烏永春水作... 此の薬は...

○ねのしりしむあさごひ○みどからおかしりのありてつねあがり○いろあそく又ハまた
 ましよく目ふあやせとち○さあひしこのことば○おろし○あそく又ハまた
 ○あつひあはのほろトこく○あそくあそひひるん○あしほりもしく又ハまた
 のしりしむ○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 とあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 くりりてあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 一切のやまひよりあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく

関東筋賣弘所

東都大傳馬町三丁目

丁子屋平兵衛

上方筋賣弘所

大坂心齋橋筋博勞町

河内屋茂兵衛

京都坂町六角下町

吉野屋勘兵衛

江戸室町三丁目

鐵屋八右衛門

下総佐原橋本

正文堂利兵衛

江戸横山町三丁目

松本屋長藏

尾州名古屋屋舟入町

中屋久兵衛

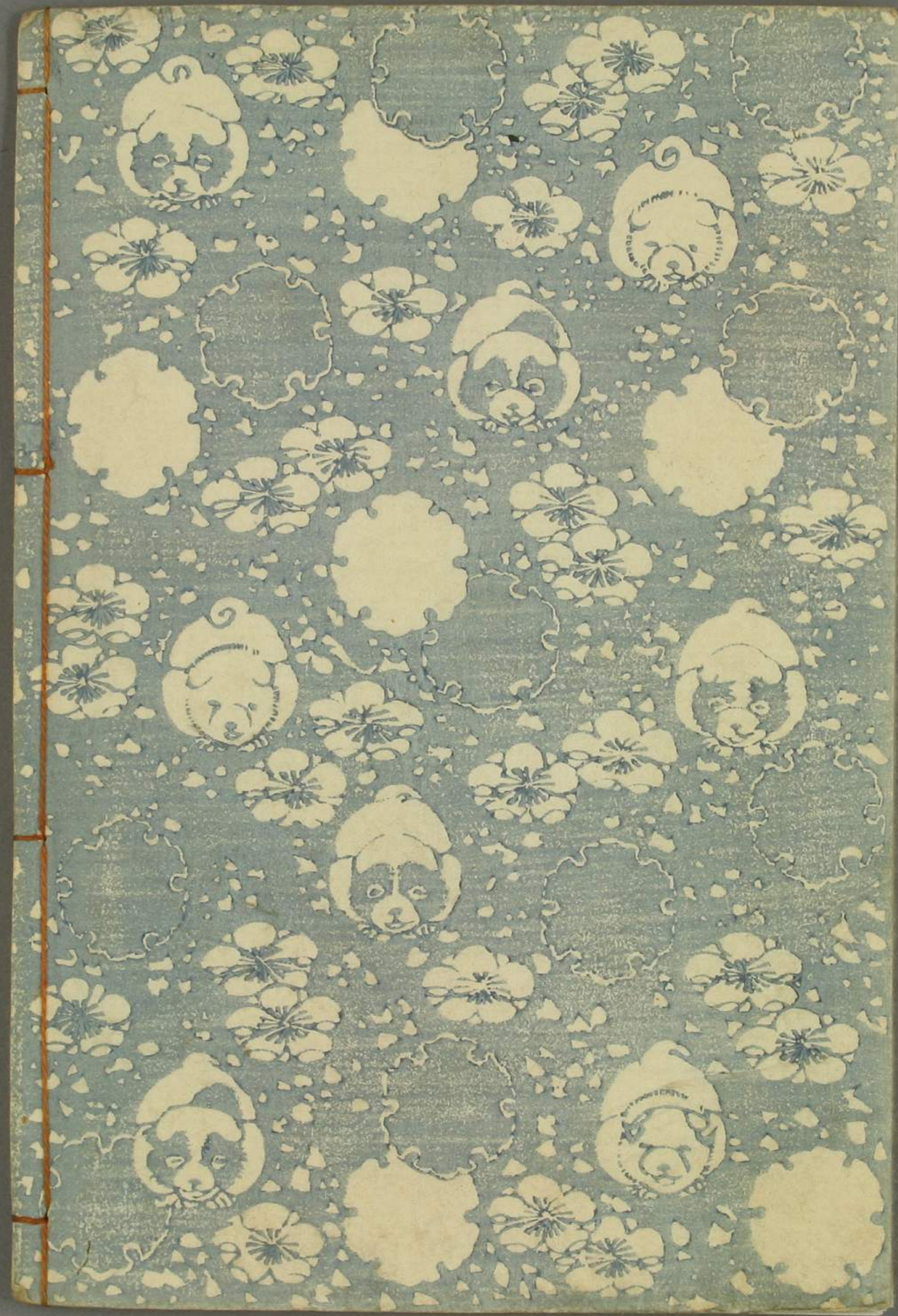
奥州仙臺大町三丁目

熊谷屋善兵衛

由亭御手輯入矢傳の世も流りり事二年年古今未嘗有の佳也本編
 二百六巻あり。然る不道者大の系統と形号あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 人物の姓名を換るるもわりあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 たるその代をあれ其心ご推考さるる不遠回ハ名矢傳と明記せり。○あつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 大の系統とのとゆへに。そまろたつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 繪まはと断るるといふは。此まよみハ矢傳ハ名が手輯の其後を合巻と
 かんたんなる事。事寧姓名のいさうも。本傳の巻もあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく
 たり。ついで因てあつひあはのほろトこく○あつひあはのほろトこく



丁子屋平兵衛
 三河屋鉄五郎



假名讀
八丈傳
第八編
文漢堂



春水作
園芳畫